



photo: Kiyoshi Nishioka

都市地域の再生と大学の共創

大阪府立大学・大阪市立大学共催フォーラム

日時 2014年2月13日(木) 13:30~17:00(開場13:00)

会場 中央電気倶楽部本館ホール(大阪市北区堂島浜2丁目1-25)

プログラム

開会挨拶 中川 眞(大阪市立大学文学研究科教授)

第1部 十津川の暮らしと魅力

更谷 慈禧(十津川村長)

西岡 潔(写真家)

第2部 林業の未来 ―木域学の提案―

横山 俊祐(大阪市立大学工学研究科教授)

乾 耕輔(十津川村建設課主幹)

黒川 恵史(十津川村林業振興顧問)

第3部 文化資源による地域振興

中川 眞

増谷 良一(十津川村観光振興課長)

三浦 研(大阪市立大学生活科学研究科教授)

第4部 パネルディスカッション 地域再生と大学

大阪市立大学教員・十津川村長・大阪市関係者ほか

司会 中村 治(大阪府立大学人間社会学部教授)

閉会挨拶 宮野 道雄(大阪市立大学副学長)

COC事業紹介

地域再生と都市の大学



文部科学省のCOC (Center of Community) 事業に採択された大阪市立大学と大阪府立大学が共同して、地域間交流から生まれる成果を論じ、語り合うフォーラム。大学は地域から何を学び、地域は大学から何を求めるのか。都市と遠隔地域が分断されがちな現状において、それをうまく繋ぐにはどうすればよいのか？ そこに果たす大学の役割とは何か？ 教育や研究成果がもたらすインパクトをどう社会に反映できるのか？

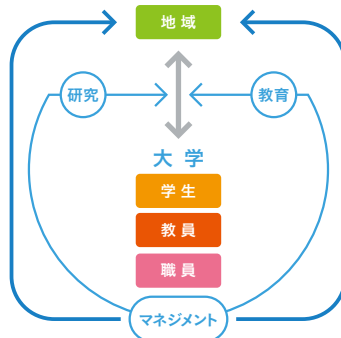
本フォーラムでは、世界文化遺産や重要無形民俗文化財など豊かな資源をもちながら、林業不振などで停滞を余儀なくされている奈良県吉野郡十津川村と大学との交流が報告されます。都市の大学と遠隔地域との交流からうまれるダイナミックな提案は、近距離地域への貢献を中心とするCOCプログラムに新たな視野とインパクトを与えるでしょう。

photo: Kiyoshi Nishioka

大阪市立大学・大阪府立大学 COC事業パネル展示

大阪市立大学と大阪府立大学が共同申請し採択された文部科学省地(知)の拠点整備事業「大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実践」は、複雑化・高度化する地域課題に対応し、地域再生の拠点となるような大学機能の強化をめざすものです。両大学では、この事業を活用し、これまでの社会貢献の取組みと蓄積を活かし、地域志向教育のための学生の教育プログラム開発・導入や、地域と連携した教育・研究の充実を図り、地域再生の拠点となる大学をめざします。

フォーラム会場内に、両大学におけるCOC事業の教育、研究、社会貢献の取組みを、パネル展示いたします。大学を身近に感じていただけるきっかけになれば幸いです。



●パネル展示内容

- 商店街の活性化を通じたまちづくりの可能性
- いのちを守る都市づくり
～いのちラボ・ネットワークによる災害知の社会実装
- 遠隔の中山間地域問題の学修と地域福利の実践
- 博物館「活動」の総合的な魅力を学ぶプログラム開発
- 生きた建築ミュージアム2013・大阪セレクション
- アーツマネジメントによる地域交流
- 都市油田の有効利活用とバイオエネルギーの再利用 ほか

■COC事業について

COC事業の正式名称は、文部科学省「地(知)の拠点整備事業」です。大学・高専において、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を、文部科学省が支援しようとする事業です。

■会場アクセス



- 大阪駅より徒歩12分 JR北新地駅より7分
- 地下鉄四つ橋線西梅田駅より徒歩6分(堂島地下街南詰C-93番出口を出る)
- 京阪中之島線渡辺橋駅より5番出口から徒歩5分

■申込方法

電子メール、もしくはFAXにて、住所・氏名・電話番号をご記入のうえ、下記までお申込みください。
締切=2014年2月12日(水)

大阪市立大学 プロジェクト・マネジメント・オフィス宛
E-mail pmo-coc@ado.osaka-cu.ac.jp
FAX 06-6605-3505

■連絡先

大阪市立大学
プロジェクト・マネジメント・オフィス(略称PMO)
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
TEL 06-6605-2068
FAX 06-6605-3505
E-mail pmo-coc@ado.osaka-cu.ac.jp



大阪府立大学
地域連携研究機構 地域連携室
COC事務局
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号
TEL and FAX 072-254-8309
E-mail cocinfo@ml.osakafu-u.ac.jp